

駒場苑のケア方針 **7**つのゼロへの挑戦

寝かせきりゼロ
を目指します！

昼も夜もベッドに寝かせきり…そんな生活は駒場苑にはありません。日中はできるかぎり離床していただき、活動的に過ごしていただきます。

おむつゼロ
を目指します！

オムツやリハビリパンツの中に排泄…ではなく、できるかぎりトイレですっきり排泄していただきます。綿パンツか、パットだけで快適に過ごせる生活を目指します。

機械浴ゼロ
を目指します！

ストレッチャーに寝たまま浴槽に入る機械的な入浴…ではなく、普通の家庭サイズのヒノキの浴槽で、香りを楽しみながら温泉気分でのんびりと。そんな生活習慣を大事にした入浴をしていただきます。

誤嚥性肺炎ゼロ
を目指します！

誤嚥性肺炎は防げるものが多いです。食事は寝ながらしないようにし、出来るかぎり椅子に座って、車椅子の方も座面に板を敷き、よい姿勢で食事ができるようにします。食事介助は必ず座って行ない、お一人おひとりのペースに合わせてゆっくりと。食後の口腔ケアもしっかり…誤嚥性肺炎を起こさぬよう努めます。

脱水ゼロ
を目指します！

出来るかぎり1日1000cc以上の水分を摂っていただき、水分不足での脱水を起こさぬように努めます。

身体拘束ゼロ
を目指します！

生活には事故のリスクはつきものです。事故を防ぐために最大限の注意を払って行かなければなりません。しかし、それを防ぐために縛ったり、ベルトで動けなくしたり・・・そんな身体拘束はその方の生活も尊厳も奪います。駒場苑では身体拘束は行いません。

下剤・精神安定剤ゼロ
を目指します！

1000cc以上の水分摂取と適切なトイレ誘導、食物繊維の多い飲食物で自然なかたちの排便を促します。また、日常的な関わりの中で、安心感を持っていただけるような介護を心掛け、安定剤を使わずに生活をしていただけるようにします。